

富士河口湖町 教育センターだより

平成23年4月7日



● 新年度がはじまりました

悲しいことばかりが心を占める3月でした。何も解決しないまま4月に入ってしまった。しかし、私達は3月の出来事を通して、たくさんのことを考えさせられました。世界中の人たちからの惜しみない支援。戦後、私達の先輩方が、担ってきた国際支援の活動が、今、東北に光をさしているのです。高校野球の選手宣誓に忘れられない一文がありました。「生かされている命に感謝して…」有って当たり前命ではないのです。節電を始め、「物の有りすぎる」生活を見直す動きが出てきました。また、他人には無関心だった人達の目に隣人が映るようになってきました。被災地で、多くの大人に混じって働いているのは中学生や高校生とか。小学生も自分でできることを見つけて働いています。多くの犠牲を出して、初めて気付いたことばかりですが、日本人の良さを再発見できたように思います。多くの人が今思っているのは、「日本人でよかった。」…命の叫びを胸に刻んで、新年度をはじめようと思います。

● 町内の学校に行きます

4月11日(月)、教育センターの活動をより一層理解支援していただくために町内の小中学校12校に挨拶に行きます。保護者の皆様も、教育センターの存在を今以上に知っていただき、もしも、心にひっかかるものがあったら、気軽に話をしてほしいと思います。子育てに奮闘しているお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、ストレスを感じたら、一人で悩まないでください。一緒に考えるお手伝いをします。

● 教育センターのメンバーは…

4人そろって平均年齢50歳以上。

しかし、精神年齢は自由自在、誰とでも壁なく入り込める特技の持ち主たちです。



所長・・・古屋賢一

おじさんギャグに満身の笑み。
最近GPSを持って、仲間との
山登りに興じています。
たまに、奥さんとウォーキング。



相談員・・・山口真澄

ママさんバレーでいつも汗を
流しています。爽やか元気一杯です。



相談員・・・小林真弓

3Bという体操クラブで軽やかに
活動しています。とてもやさしく、
心がほっこりしてきます。



事務担当・・・大橋恵都子

本の虫テレビの虫、
サスペンスオタクです。

今年度もよろしく申し上げます